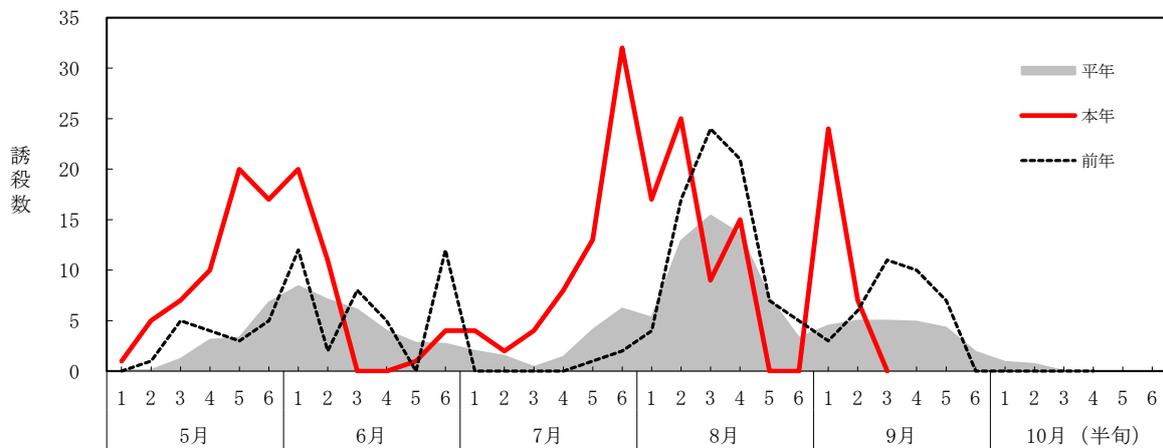


令和5年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第19号

作物名：キャベツ【県南地域】（9月中旬）

1. ヨトウガ（発生量 平年並）

フェロモントラップによる成虫の誘殺は、9月第1半旬に急増し、その後は急減した。巡回調査における発生地点率は平年並であった。10株当たり幼虫数は平年よりやや多かったが、若齢幼虫が多く、卵塊は確認されなかった。



フェロモントラップによるヨトウガの誘殺状況（おいらせ町）

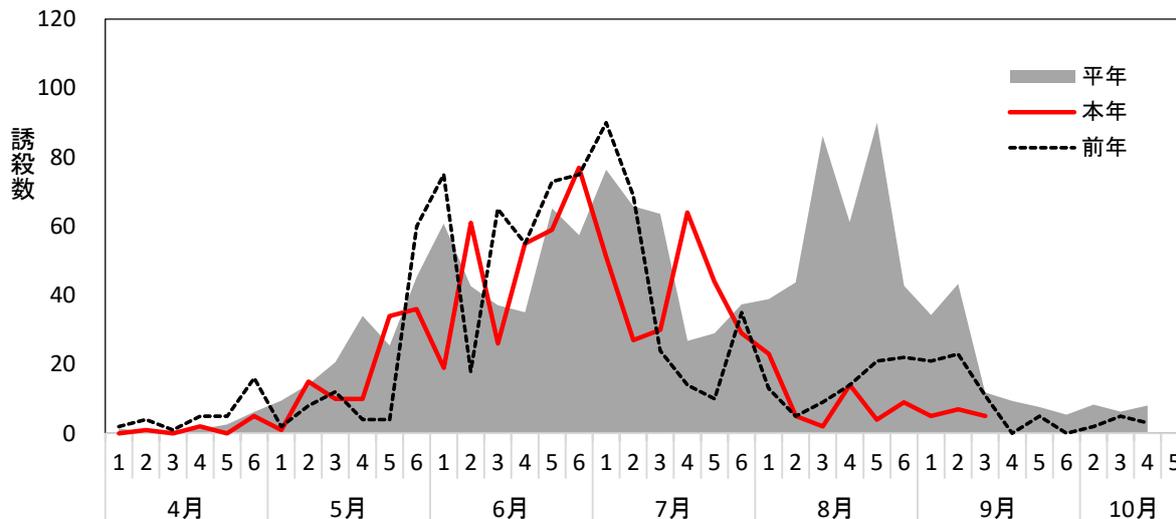
巡回調査におけるヨトウガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	寄生株率 (%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少			卵塊	幼虫
9月中旬	県南	本年	10	0	0	10.0	10.0	20.0	2.0	0	1.60
		前年	15	0	0	0	33.3	33.3	1.3	0.11	0.04
		平年	14	0	0	0.5	18.4	18.9	0.8	0.07	0.09

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数31以上、多 同16～30、中 同6～15、少 同1～5。

2. コナガ（発生量 少ない）

フェロモントラップによる成虫の誘殺は、8月以降平年より少なく推移している。巡回調査における発生地点率、10株当たり寄生数はいずれも平年より少なかった。



フェロモントラップによるコナガの誘殺状況（おいらせ町）

巡回調査におけるコナガの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	10株当たり寄生数		
				甚	多	中	少		幼虫	蛹	計
9月中旬	県南	本年	10	0	0	0	30.0	30.0	0.20	0.10	0.30
		前年	15	0	0	0	40.0	40.0	0.76	0.04	0.80
		平年	14	0	0.8	0.8	54.9	56.6	1.54	0.35	1.89

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数71以上、多 同41~70、中 同11~40、少 同1~10。

3. モンシロチョウ（発生量 多い）

巡回調査における発生地点率、10株当たり寄生数はいずれも平年より多かった。

巡回調査におけるモンシロチョウの発生状況

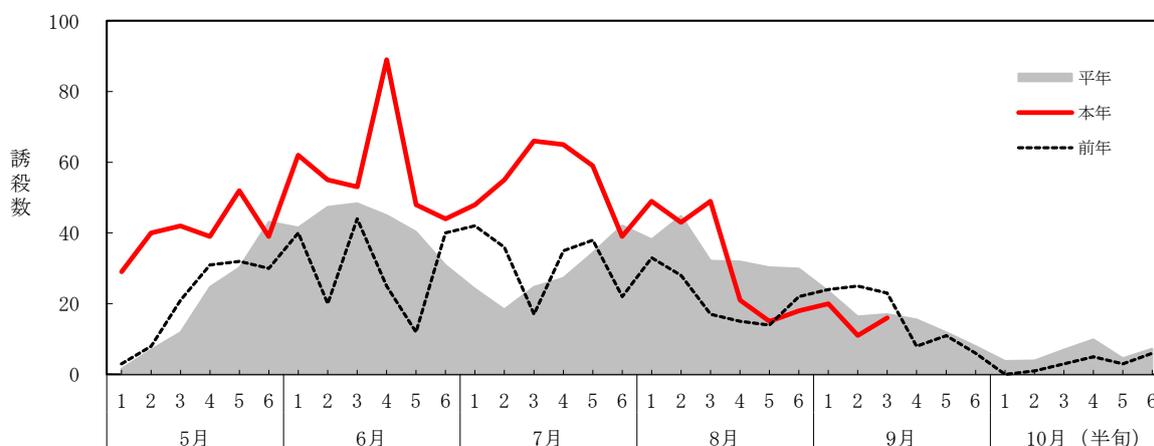
調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少		卵	幼虫蛹
9月中旬	県南	本年	10	0	0	0	50.0	50.0	4.60	0.70
		前年	15	0	0	0	13.3	13.3	0.11	0.18
		平年	14	0	0	0	18.0	18.0	0.81	0.17

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。

4. ウワバ類 (発生量 やや多い)

フェロモントラップによる成虫の誘殺は、9月に入ってから平年並に推移している。

巡回調査における発生地点率は平年並であったが、10株当たり寄生数は平年よりやや多かった。



フェロモントラップによるタマナギンウワバの誘殺状況 (おいらせ町)

巡回調査におけるウワバ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査 地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	10株当たり寄生数	
				甚	多	中	少		卵	幼虫蛹
9月中旬	県南	本年	10	0	0	10.0	30.0	40.0	1.60	0.95
		前年	15	0	0	0	40.0	40.0	0.51	0.40
		平年	14	0	0	2.3	31.3	33.6	1.10	0.46

注) 発生程度：甚 10株当たり寄生数41以上、多 同21~40、中 同6~20、少 同1~5。

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 担当：主任専門員 柳野利哉

〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900

E-mail : byogaichu@pref.aomori.lg.jp